

出版会活動

◆『形成的表現から平和へ―美術教育私論―』を二月二十六日より発売

日本の美術教育理論の構築をめざす本書は、イメージをもとにした造形表現という独自性をもった教科の特徴と、表現による人間形成という形成的表現の構造、そして平和をめざす美術教育への道筋を明らかにしている。



◆『藤田嗣治の絵画技法に迫る…修復現場からの報告』を二月二十六日より発売

一九二〇年代のバリ画壇で寵児となった藤田嗣治が創出した独特な「乳白色」。自らの代名詞ともいえるこの色彩技法を秘密に

したまま、藤田はこの世を去った。本書は、これまで謎であった藤田の絵画技法の解明をめざす、世界でも例のない試みである。



◆『サウンド入門』を三月九日より発売

本書は、映画、DVD、デジタル放送などにおける新しい音響フォーマットとして採用されている「サウンド制作」について書かれた実践的な解説書。基礎的な理論から実際の制作現場で役に立つ実践的な例まで、幅広い内容を三人の著者がわかりやすく解説している。



◆CD『東京藝大チエンバーオーケストラ』を三月九日より発売

二〇〇九年二月に千住キャンパススタジオでおこなわれたヨハネス・マイスル指揮／東京藝大チエンバーオーケストラの演奏を収録したCD。

ヴァイオリニストでウィーン音大の教授でもあるマイスル氏と、藝大の若いヴィルトワールたちによる熱演が楽しめる。『収録曲』ハイドン…交響曲第四十四番「短調（悲しみ）」シェーンベルク…室内交響曲第一番「メンデルスゾーン」…交響曲第一番「短調」



◆『いま天心を語る』を三月十二日より発売

天心がいまに残した多くの遺産に、平山郁夫、高階秀爾ら各界の論者が多角的・多

元的に切りこんだ渾身の書。多くの新たな知見が示された刺激的な討論が全収録されている。未来への布石となるべき注目の書。



◆『伝統のイタリア語発音』を三月十二日より発売

本書は、オペラ・歌曲を歌うためのイタリア語発音を身につけるために作成されたCD二枚付のテキストとなっている。イタリア語の韻文の伝統に則った発音を、母音、子音のそれぞれの音からオペラの詩句まで、CDに従えば、イタリア語の知識の有無に拘らず、また独学であっても修得できるように考えられている。



◆楽譜『オペラ・デ・イ・オ・ニ・ユ・ス』を三月十八日より発売

台本は中嶋敬彦、作曲は佐藤眞の手になるこの版は、創作シンジュビール台本と、その作曲部分の楽譜を合冊としたもの。

この台本の意図を汲み取り、佐藤眞が現代作曲技法の限りを尽くして曲作りをしたこの新しい試みは、音楽の専門家だけでなく、広く音楽の愛好家に対して、音楽創造と音楽表現・享受の場で多くの示唆を与えることだろう。



◆DVD『邦楽で綴る『平家の物語』（後編）』を三月十五日より発売

邦楽の古典に多大な影響を与えた「平家物語」をテーマに、音楽学部邦楽科と美術学部が協力して作り上げる「和楽の美」公演。

本DVDは、『平家物語』を題材とした数々の邦楽古典曲と『平家物語』にちなんで創作した曲を物語順に構成し、各曲間を語りで分かりやすく結んだ「邦楽で綴る『平家の物語』」完結編。



◆DVD『アニメーション専攻第一期生修了作品集2010』を三月十九日より発売

二〇〇八年春、横浜に誕生したアニメーション専攻。二年を経て初めての修了制作十一作品を収録したDVDが完成した。若く未完成ながらも独創性に富んだ十一の視点で、学生たちが二年間を費やして探求した「アニメーション表現との対話」。その成果として生まれた短編作品群は、耳慣れた「アニメーション」のイメージから私たちを軽々と解放して、より自由で広大な「ANIMATION」表現のステージを予感させる。



◆『応挙・呉春・蘆雪 円山・四条派の画家たち』を六月十八日より発売

本書は、本学名誉教授、故山川武の研究著作から中心的研究テーマであった円山四条派に関する論考、とくに円山応挙、呉春、長沢蘆雪の三人の画家についての論考を再編集したもの。

江戸絵画の研究者はもちろん、これから研究をはじめようとしている学生にとって必読の書といえる。



東京藝術大学出版会の出版物等は、本学藝大アートプラザ、アマゾン（ネット販売）および一般書店にて取り扱っております。詳しくは、藝大アートプラザ（〇五〇―五五二五―二二〇二）まで

交流

◆大学間国際交流協定締結

四月一日、ロイヤルアカデミー・スクールズ（イギリス）と本学大学院美術研究科は、美術に関する交流を深めるとともに、教育及び研究に関する協力を行うことに合意し、芸術国際交流協定を締結した。

六月十七日、ナント芸術大学（フランス）と本学大学院美術研究科は、美術に関する交流を深めるとともに、教育及び研究に関する協力を行うことに合意し、芸術国際交流協定を締結した。

これらの調印により、本学における交流協定締結校は、十六か国（地域）、四十六大学等となった。

◆シンポジウム「アジア・芸術の創造―芸術大学の役割―」を開催

五月十九日、音楽学部第六ホールにてシンポジウム「アジア・芸術の創造―芸術大学の役割―」が開催された。

シンポジウムでは、中国・台湾・韓国で芸術教育に携わっている計十一大学十三名の元留学生を招聘し、国内外の芸術系大学との国際連携事業や元留学生とのネットワーク強化事業を紹介するとともに、アジアにおける芸術の創造を進めていくために必要な芸術大学の役割について討論が行われた。

受章・受賞

◆北川原温教授が「日本芸術院賞」を受賞
三月十八日、「中村キース・ヘリング美術館」を建築した業績が認められ、美術学部建築科の北川原温教授が、日本芸術院賞を受賞した。なお、授賞式は五月三十一日に行われた。

◆北野武特別教授がフランス芸術文化勲章「コマンドール章」を受章
三月九日、「映画監督としてだけではなく、さまざまなジャンルにおいて自由さを持つてものつくりを進める直感的な才能を持っている」と評され、大学院映像研究科映画専攻の北野武特別教授が、フランス芸術文化勲章の最高章である「コマンドール章」を受章した。

◆藤幡正樹教授(大学院映像研究科長)が「第六十回芸術選奨文部科学大臣賞」を受賞
作品「Simultaneous Echoes2009. a field-work in London」や教育分野での取り組み、執筆活動等が認められ、三月十九日、大学院映像研究科メディア映像専攻の藤幡正樹教授が、第六十回芸術選奨のメディア芸術部門において文部科学大臣賞を受賞した。

◆植田一穂准教授がMOA美術館賞を受賞
六月十二日、美術学部絵画科日本画の植田一穂准教授の作品「夏の花」が、MOA岡田茂吉賞の絵画部門においてMOA美術館賞を受賞した。

◆東京藝術大学が「最優秀学校賞」を受賞
クロアチアで開催された第二十回ザグレブ国際アニメーションフェスティバルにおいて六月六日、学生部門に学生三名の作品が公式出品されるなど、本学大学院映像研究科における人材養成が高く評価され、東京藝術大学に最優秀学校賞(Best Animation School)が贈られた。

運営

◆平成二十一年度卒業式

三月二十五日、奏楽堂にて平成二十一年度卒業式が挙行された。式は杉本峯夫教授と器楽科学生による「ファンファーレ」の華々しく荘厳な響きで幕を開け、続いて宮田学長から卒業生、修了生の総代に学位記が授与された。その後壇上では、邦楽科の教員・学生による慶祝に満ちた演奏が奏でられるなか、作務衣に着替えた宮田学長が改めて登壇し、縦横約

二メートルの特製パネルに「忠」の文字を揮毫した。

学長は「忠」を「自分のまごころや他人を思いやる心など、人間関係に一番必要で不可欠なものを表す字」と説明するとともに、愛の心、人との出会いの心を備えた豊かな生き方のできる人になってくれることを望んでいると述べ、大学を巣立つ若者たちを激励した。

◆平成二十二年入学式

四月五日、奏楽堂にて平成二十二年入学式が挙行された。

邦楽科教員が奏でる「春の海」の典雅な箏と尺八の調べで清々しく幕を開け、学長式辞では、宮田学長が、式辞の最中に壇上で「誓」という文字を揮毫し、「確たる志をもって集い、互いに向かい合い、励ましあい、さらには互いに尊敬しあつて、日々を心豊かに送ってもらいたい」と述べ、大学生生活のスタートを切る学生たちを激励した。

◆学長と語ろうⅦ

奏楽堂トーク&コンサート

六月十九日、第七回「学長と語ろう 奏楽堂トーク&コンサート」が、ゲストに女優の鶴田真由さんを招いて開催された。



第一部

は「映像から伝えられるもの」をテーマに、世界各地を訪れた鶴田さんの貴重な映像と対話を紹介された。対

談で鶴田さんと宮田学長は、絵や歌やものづくりが人間の本質的なもので、同時に心を癒すものであると語り、心と直結している芸術の力を確かめ合うとともに、人の心を育む芸術教育の大切さを訴えた。

休憩を挟んだ第二部コンサートでは、湯浅卓雄准教授の指揮による藝大学生オーケストラが、鶴田さんからリクエストをいただいたブラームスの交響曲第三番を演奏し、熱心に練習を重ねてきた美しい音色が奏楽堂に響き渡った。

次回、第八回「学長と語ろう 奏楽堂トーク&コンサート」は、俳優・画家の片岡鶴太郎氏を迎えて、十一月二十日(土)に開催される。

◆藝大フレンズ加入者状況

加入者数(平成二十二年七月三十一日現在)
賛助フレンズ個人二三名 法人四団体
特別賛助フレンズ個人一六名

◆今年度上半期に開催された主な展覧会、演奏会記録

《大学美術館》
コレクション展
朝倉文夫 朝倉彫塑館所蔵
2020 芸大コレクション 動物を中心に
会期 四月六日〜六月六日
入場者数 一万五二三名

《奏楽堂》
藝大フィルハーモニア定期
新卒業生紹介演奏会
開催日 四月十五日
入場者数 七四〇名

藝大21 創造の杜
ヤニス・クセナキス―音の建築家―
開催日 四月二十二日
入場者数 六八〇名

第四十二回藝大学生オーケストラ
定期演奏会
開催日 五月二十八日
入場者数 六四四名

第21号刊行にあたって

藝大通信も21号を迎えさらなる内容の充実をはかるため、今号においてもリニューアルを実施しました。

より藝大らしくビジュアルを全面に押し出した「geidai gallery」というページを新たに設け、初回はデザイン科の中島千波教授にご登場願ひ、雑誌の冒頭を華やかに彩っていただきました。

本誌は「謎の多い大学」と見なされがちな東京藝術大学の「人」にまず着目し個性的な教員や学生を紹介していきます。次号からはさらに「場」や「営み」に焦点を当て、藝大がどのような大学なのかをできるだけ多くの方々に理解して頂けるよう「紙」ならではの情報をいかに提供していきたいと思っております。今後も企画を検討していきますので新しい藝大通信の展開にご期待頂きたいと思います。

藝大通信編集長
松下 計

展覧会・演奏会の最新情報は、
東京藝術大学公式 Web サイト
(<http://www.geidai.ac.jp/>) を
ご覧ください。

●展覧会についてのお問い合わせ

東京藝術大学大学美術館
Tel. 050-5525-2200
NTT ハローダイヤル
Tel. 050-5777-8600

●演奏会についてのお問い合わせ

東京藝術大学演奏芸術センター
Tel. 050-5525-2300

●演奏会チケットの取り扱い

藝大アートプラザ
Tel.050-5525-2102
ヴォートル・チケットセンター
Tel.03-5355-1280
チケットびあ
Tel. 0570-02-9999
東京文化会館チケットサービス
Tel. 03-5685-0650

●藝大アートプラザのご案内

Tel. 050-5525-2102
Fax 03-5685-7823